

一般社団法人日本腎臓学会 平成 27 年度事業計画

1. 学術集会の開催

◎第 58 回日本腎臓学会学術総会

総会長：松尾清一

名古屋大学大学院医学系研究科 腎臓内科 教授

会 期：平成 27 年 6 月 5 日（金）～7 日（日）

会 場：名古屋国際会議場(名古屋市)

テーマ：「腎臓学の未来」

サテライトシンポジウム

【西部地区】

会 期：平成 27 年 7 月 11 日（土）

会 場：くにびきメッセ（島根県松江市）

テーマ：「腎臓学：現在から未来へ」

【東部地区】

会 期：平成 27 年 7 月 19 日（日）

会 場：山形国際ホテル（山形県山形市）

テーマ：「みんなでつくろう腎臓学の明日」

○第 45 回日本腎臓学会東部学術大会

大会長：林 松彦 慶應義塾大学医学部 血液浄化・透析センター 教授

会 期：平成 27 年 10 月 2 日（金）・3 日（土）

会 場：東京都 東京ミッドタウン ホール&カンファレンス

テーマ：「検証する腎臓学 迷信のない腎臓学」

○第 45 回日本腎臓学会西部学術大会

大会長：横山 仁 金沢医科大学医学部 腎臓内科学 教授

会 期：平成 27 年 10 月 23 日（金）・24 日（土）

会 場：金沢市 金沢歌劇座・金沢 21 世紀美術館・石川県政記念しいのき迎賓館

テーマ：「臨床腎臓学の進歩：日本からの発信」

2. 出版事業

1) 学会誌：日本腎臓学会誌の発行（年 8 号）

：Clinical and Experimental Nephrology の発行（年 6 号）

：CEN Case Reports の発刊（年 2 号）

2) 「腎疾患患者の妊娠—診療の手引き改訂版」の作成

3) 「がん薬物療法時の腎障害ガイドライン」の作成

4) 「AKI 診療ガイドライン」の作成

5) 「CKD 診療ガイドライン」・「CKD 診療ガイド」の作成

6) 「非典型溶血性尿毒症症候群診断基準改訂版」の作成

3. 腎疾患に関する調査・検討

1) 厚生労働省

①CKD の早期発見、予防、治療標準化、進展阻止に関する調査研究

②糖尿病性腎症の病態解明と新規治療法確立のための評価法の開発

③CKD 進展予防のための特定健診と特定保健指導のあり方に関する研究

④慢性腎臓病(CKD)に関する普及啓発のあり方に関する研究

⑤特定健康診査による個人リスク評価に基づく、保健指導と連結した効果的な慢性腎

臓病(CKD)地域連携システムの制度設計

⑥臨床効果データベース整備事業

- 2) 内閣官房「次世代医療 ICT 基盤協議会ワーキンググループ」において「生活習慣病管理用データセット収集利活用(仮名)」を検討中
- 3) 慢性腎臓病の疫学調査「腎移植ドナーGFRプロジェクト」
- 4) 腎臓病健診のあり方の検討
- 5) 腎臓病総合レジストリーの構築
- 6) 登録腎生検予後調査(日本透析医学会と合同)
- 7) IgG4 関連腎臓病の研究
- 8) 腎病理標準化の推進
- 9) 各学会との合同委員会による慢性腎臓病など腎疾患の調査・検討
日本糖尿病学会、日本透析医学会、日本人間ドック学会、日本医学放射線学会、
日本医師会、日本薬剤師 4 団体など
- 10) 日本 CKD コホート研究終了後の継続予後調査に関する研究

4. 普及・啓発・後援

- 1) 慢性腎臓病(CKD)の予防・診断・治療に関する講演会開催
- 2) 市民公開講座の開催
・平成 27 年 6 月 7 日(日) 名古屋市:名古屋国際会議場
- 3) 学生・研修医のための教育セミナー
・平成 27 年 10 月 3 日(土) 東京:東京ミッドタウン ホール&カンファレンス
・平成 27 年 10 月 24 日(土) 金沢:金沢歌劇座
- 4) 臨床研修医のための腎臓セミナー
・平成 27 年 8 月 1・2 日 第 21 回臨床研修医のための腎臓セミナー
:東京 灘尾ホール、担当責任者 南学正臣(東京大学)
・平成 27 年 2 月 20・21 日 第 22 回臨床研修医のための腎臓セミナー
:熊本 テルサホール、担当責任者 向山政志(熊本大学)
- 5) 腎臓専門医受験のための教育セミナー
・平成 27 年 6 月 7 日(日) 名古屋:名古屋国際会議場
- 6) 第 9 回診断病理サマーフェスト(第 11 回腎病理夏の学校)
・平成 27 年 9 月 5 日(土)・6 日(日) 京都 テルサホール
- 7) 世界腎臓デー慢性腎臓病啓発イベント(慢性腎臓病対策協議会后援)
・平成 28 年 3 月 キドニーウォーク
・平成 28 年 3 月 主要都市での検尿キット配布とキャンペーン
・平成 28 年 3 月 「CKD に関する講演会(慢性腎臓病対策協議会主催)」
・平成 28 年 3 月 「CKD に関するシンポジウム(厚生労働省主催)」
- 8) 都道府県における「CKD 啓発イベント(慢性腎臓病対策協議会主催)」
- 9) 男女共同参画推進に関する活動
・平成 27 年 6 月 5 日(金) 第 58 回学術総会
「テーマ:未定」
・平成 26 年 10 月未定 第 45 回東部学術大会
「テーマ:未定」
・平成 26 年 10 月未定 第 45 回西部学術大会
「テーマ:未定」
- 10) 厚生労働省、全腎協全国大会、日本慢性腎臓病対策協議会など各団体への後援

5. 国際交流

- 1) 第 58 回学術総会前日、アジア諸国から若手研究者を招待し、APSN による CME 活動を行う。
- 2) 第 58 回学術総会中、アジア国際交流の一環として英語セッションを行う。
- 3) 第 58 回学術総会中、JSN と KDIGO で AKI ガイドラインに関する比較会議を行う。

- 4) 第 58 回学術総会中、JSN と ERA/EDTA でジョイントシンポジウムを行う。
- 5) 第 58 回学術総会中、JSN と ASN でジョイントサイエンスシンポジウムを行う。
- 6) ISN/sister renal center(SRC)2 年目活動として、6 月にベトナム側から 3 人の医師と 1 名の技師の短期研修(1~2 週間)を日本で行い、11 月に第 2 回の腎病理セミナーと CKD 疫学調査をハノイで行う。

6. 褒賞および研究業績の顕彰

- 1) 大島賞の授与
- 2) 優秀論文賞の授与
- 3) 日本腎臓学会奨学プログラムの授与
- 4) 上田賞の授与
- 5) 基礎研究支援プログラムの授与
- 6) 新規褒賞の CIA の授与
- 7) 新規褒賞の YIA の授与

7. その他の事業

- 1) 会員数の増加を図る。当面の目標として正会員 1 万人を目指す。
- 2) 腎臓専門医・指導医、研修施設の認定を行う。
- 3) 平成 28 年 2 月 6 日(土) 第 24 回腎臓専門医試験を行う。
- 4) 日本医師会糖尿病対策合同会議に参画し、「糖尿病性腎症」のテーマに取り組む。
- 5) 学会主導の学術総会の推進を行っている。
- 6) 腎臓病療養指導士制度の検討を図る。
- 7) 先行的腎移植を希望する献腎移植の登録システム構築し審査を継続する。
- 8) 診療報酬算定獲得に向け対策を強化する。
- 9) 一般社団法人移行に伴い電子公告が可能となったため、会員のメール登録を強化・拡充を図る。
- 10) 「日本腎臓学会サポーター制度」発足に伴い更なる活動支援を積極的に行う。
- 11) その他

以上